



よく遊び、よく学ぶ！



(学年交流会「遊びに熱中」)

先週の昼休みは、今年度最後の学年交流会の日。中庭では、ドッジボールや鬼ごっこで大きな中学生を相手にボールを投げたり、夢中で追いかけていたりしている小学部の子どもたち。室内では、椅子を取り合う「フルーツバスケット」に狭い幼稚部の教室からは、大きな歓声があふれています。ジェスチャーゲームをしている全校朝礼室では、笑いとの和み。この室内遊びは、どちらも初めての企画で、今後に引き継がれる遊びでした。今年度4回目の学年交流会となるとさすが、慣れてきたのか、子どもたちの集まりも早く、終了の鐘が鳴るのも気づかぬ様子で遊びに熱中している様子でした。先生方も子どもたちの安全に気を遣いながら、一緒になって参加されていました。2年前に始まったこの学年の縦割り交流会。今後も補習校の子どもたちのつながりの場として更に強める取り組みになってほしいと願っています。

さて、2月に入り、本年度も卒業式・修了式まであと7日の授業日となりました。18日には、大きな学校行事として、日本語力の学習発表の機会である学芸会がありますが、各学年では、学習も最後の単元となり、1年の締めくくりとしてまとめの学習に入ります。どの子どもたちもこの時期、学年での基礎学力をしっかりとつけて進級してほしいと思います。学校では、来年度に向けて本年度の教育目標がどれほど実現したか、研修会や職員会を通して検討をしてきました。国語力(日本語力)の基礎として「聞く力」「話す力」「読む力」「書く力」をしっかりとつけることが補習校の学習目標ですが、その上で今年は、小学校の新教育課程のスタートに合わせて言語活動の推進に重点を置き、①「表現する力」「発表する力」をつける(授業での発表、音読活動、1分間スピーチ活動、学芸会の取り組み等を通して) ②読書活動に取り組む(読書への興味/関心、朝の読書活動や図書室の利用の推進、家庭の読書タイム (4年生「校長の授業参観」)の呼びかけ等を通して) ③日本語で「読む力」「書く力」を充実させる(漢字力の育成、作文力の育成等を通して) 等を取り上げてきました。先週報告をしました学校評価(学校教育自己診断)では、補習校の教育や先生の指導に多大なご理解をいただいておりますが、まだまだ先生方の取り組みの悩みも多く、音読活動や読書活動など家庭での取り組みとともに、家庭と学校とが協力して取り組むことが更に必要です。年度末に向い、学芸会の練習や文集作成等でご家庭にも多大のご協力をお願いしていますが、これらのこともよろしく願っています。

